

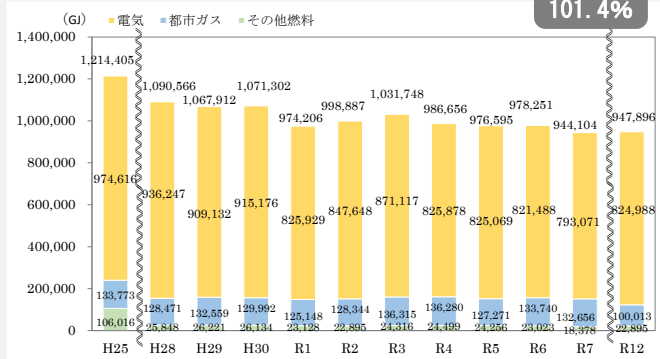
尼崎市環境マネジメントシステムに係る環境目標への取組状況（令和 7 年度実績）

～尼崎市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量・エネルギー消費量の現状と今後の見通しについて～

I 環境目標の取組状況

(1) エネルギー消費量

① 総エネルギー消費量



年度	H25 基準年度	R6 【実績値】	R7 【速報値】	R12 目標年度
エネルギー消費量 (GJ)	1,214,405	978,251	944,104	947,896
前年度比		+0.2 %	-3.5 %	
基準年度比		-19.4 %	-22.3 %	-21.9 %

■ 現状・増減の理由

① 総エネルギー消費量

- 総エネルギー消費量は 944,104 GJ となっており、前年度比 3.5 %減となりました。
- エネルギー種別では、電気使用量は 79,546 MWh で、前年度比 3.5%減、都市ガス使用量は 2,948 km³ で前年度比 0.8 %減となりました。

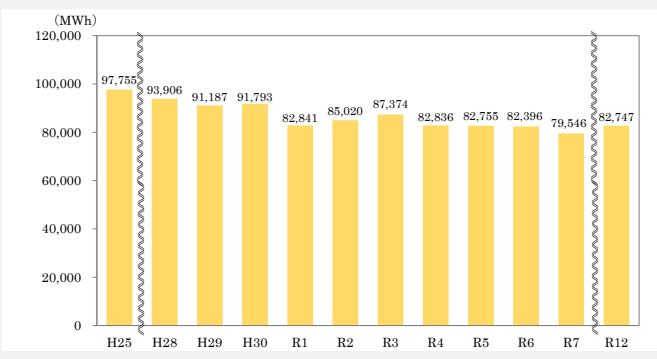
② 電気使用量

- 電気使用量を施設区分ごとにみると、「クリーンセンター」は、第 1 工場の廃止（令和 6 年 10 月末）及び第 2 工場の設備トラブルの減少等により、前年度比 28.0 %減となりました。

③ 都市ガス使用量

- 都市ガス使用量を施設区分ごとにみると、「公用車」は、

② 電気使用量



年度	H25 基準年度	R6 【実績値】	R7 【速報値】	R12 目標年度
電気使用量 (MWh)	97,755	82,396	79,546	82,747
前年度比		-0.4 %	-3.5 %	
基準年度比		-15.7 %	-18.6 %	-15.4 %

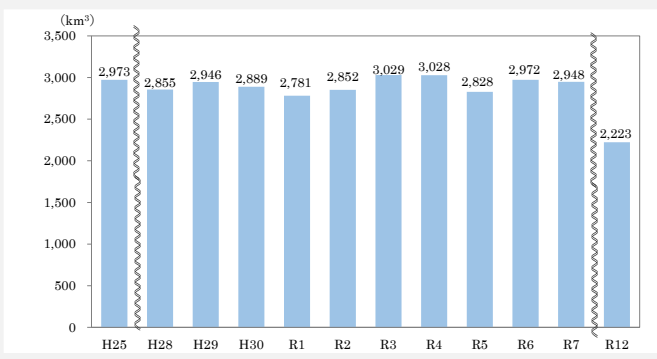
- ごみ収集車の直営比率の減により、前年度比 26.9 %減、「消防施設」は、令和 6 年度に防災センターの長寿命化工事が完了し、空調設備が電化されたこと及び給湯設備等のエネルギー消費効率が改善されたため、前年度比 8.1 %減となりました。

- 一方、「公園街路」は、猛暑日の影響により、記念公園でガス吸収式冷暖房機器の使用頻度が増加したため、前年度比 9.9 %増となりました。

■ 今後の見通し

- 令和 8 年以降、段階的に蛍光灯の製造・輸出入が禁止になるため、引き続き各公共施設で LED 照明への更新が行われ、電気使用量の減少が見込まれます。特に学校施設では、LED 化の改修工事が令和 6 年度より本格的に始まって

③ 都市ガス使用量



年度	H25 基準年度	R6 【実績値】	R7 【速報値】	R12 目標年度
都市ガス使用量 (km³)	2,973	2,972	2,948	2,223
前年度比		+5.1 %	-0.8 %	
基準年度比		-0.02 %	-0.8 %	-25.2 %

- おり、令和 10 年度を目標に全施設の整備が完了する見込みです。また、大規模改修や新築の施設でも、LED 照明への更新・導入を行います。

- 令和 7 年度 3 月に新築した北消防署園田分署が ZEB Ready の認証を取得した施設であり、省エネ効果が期待されるため、令和 8 年度以降のエネルギー消費量の減少が見込まれます。

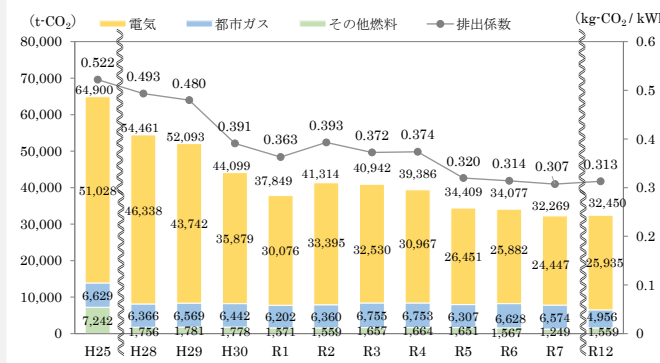
- 令和 7 年 11 月に休日夜間急病診療所が市営化されたため、令和 8 年度以降のエネルギー消費量の増加が見込まれます。

- 令和 8～10 年度の 3 年間で、全学校の体育館等に空調設備が整備される予定のため、都市ガス使用量の増加が見込まれます。

II 特定事業者別目安の取組状況

特定事業者別二酸化炭素排出量

(2) 二酸化炭素排出量

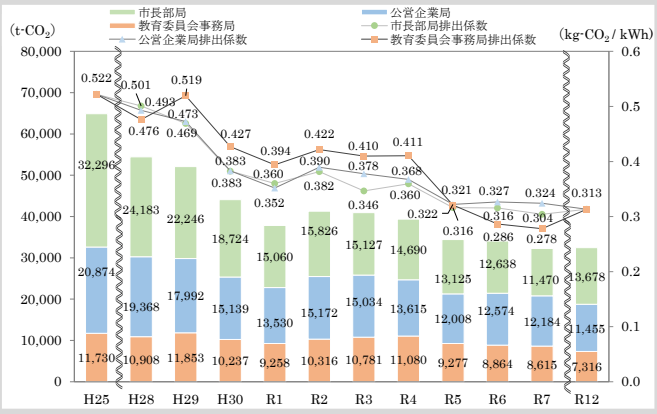
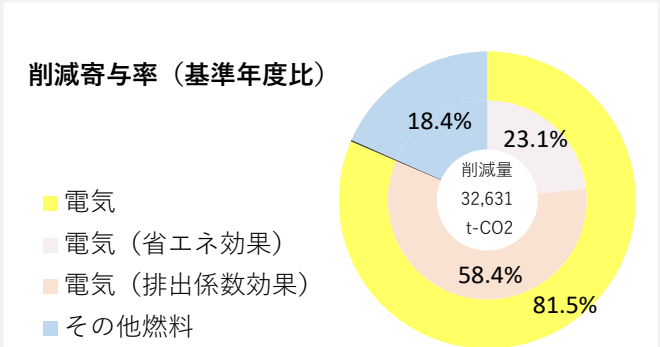


※平成 27 年度まで（電力自由化以前）は関西電力の排出係数を使用

年度	H25 基準年度	R6 【実績値】	R7 【速報値】	R12 目標年度
二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	64,900	34,077	32,269	32,450
前年度比		-1.0 %	-5.3 %	
基準年度比		-47.5 %	-50.3 %	-50.0 %

■ 現状・増減の理由

- 本市の事務事業に伴う CO₂ 排出量は 32,269 t となっており、前年度比 5.3 %減となりました。
- CO₂ 排出量に影響を与える電力排出係数は平均で、0.307 kg-CO₂/kWh となっており、前年度比 2.2 %減となりました（令和 7 年度の電力排出係数が公表されていないため、令和 6 年度の係数を基に算出しています）。
- 令和 7 年度の CO₂ 排出量は基準年度比 50.3 %減となっており、削減量のうち電気の省エネ効果が 23.1 %、電力排出係数効果が 58.4 %を占めています。



年度	H25 基準年度	R6 【実績値】	R7 【速報値】	R12 目標年度
市長部局 (t-CO ₂)	32,296	12,638	11,470	13,678
前年度比		-3.7 %	-9.2 %	
基準年度比		-60.9 %	-64.5 %	-57.6 %
公営企業局 (t-CO ₂)	20,874	12,574	12,184	11,455
前年度比		+4.7 %	-3.1 %	
基準年度比		-39.8 %	-41.6 %	-45.1 %
教育委員会事務局 (t-CO ₂)	11,730	8,864	8,615	7,316
前年度比		-4.4 %	-2.8 %	
基準年度比		-24.4 %	-26.6 %	-37.6 %

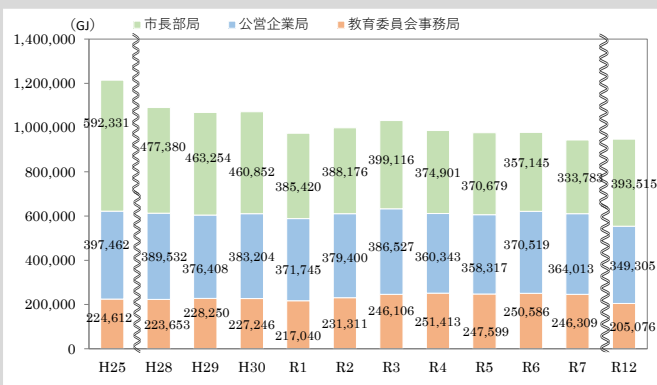
■ 市長部局

- 令和 7 年度の CO₂ 排出量は 11,470 t であり、前年度比 9.2 %減となりました。エネルギー消費量と電力排出係数は、いずれも減少しました。
- 総エネルギー消費量の減少の主な要因は、クリーンセンター第 1 工場の廃止（令和 6 年 10 月末）及び第 2 工場の設備トラブルの減少等により、買電量が減少したことです。

■ 公営企業局

- 令和 7 年度の CO₂ 排出量は 12,184 t であり、前年度比 3.1 %減となりました。エネルギー消費量と電力排出係数は、いずれも減少しました。
- 総エネルギー消費量の減少の主な要因は、空調運転の稼働率が高い 10 月にボートレースの開催が無かったため、電気使用量及び都市ガス使用量が減少したことです。

特定事業者別総エネルギー消費量



年度	H25 基準年度	R6 【実績値】	R7 【速報値】	R12 目標年度
市長部局 (GJ)	592,331	357,145	333,783	393,515
前年度比		-3.7 %	-6.5 %	
基準年度比		-39.7 %	-43.6 %	-33.6 %
公営企業局 (GJ)	397,462	370,519	364,013	349,305
前年度比		+3.4 %	-1.8 %	
基準年度比		-6.8 %	-8.4 %	-12.1 %
教育委員会事務局 (GJ)	224,612	250,586	246,309	205,076
前年度比		+1.2 %	-1.7 %	
基準年度比		+11.6 %	+9.7 %	-8.7 %

■ 教育委員会事務局

- 令和 7 年度の CO₂ 排出量は 8,615 t であり、前年度比 2.8 %減となりました。エネルギー消費量と電力排出係数は、いずれも減少しました。
- 総エネルギー消費量の減少の主な要因は、小中学校等での節電対策により、電気使用量が減少したことです。